

# 女性とオフィスと仕事を考える Close-UP クローズアップ

## 設立当初から在籍する、 数少ないスタッフ

近年日本にも導入が進められ、浸透しはじめてきている不動産の証券化。(株)モルガン・スタンレー・プロパティ・ジャパンは、世界的な証券会社、モルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター証券の関連会社として、主に不良債権など特定の不動産を証券化して投資家から資金を募り、購入から運用、売却までトータルにマネジメントすることを目的に設立された会社で、日本ではまだ新しい形態のビジネスを展開している。

今回取材した田村絵里さんが入社したのは、前身の(株)カーニー・グローバル・インベスターズの設立と同じ3年前のこと。当時、スタッフは5人だけだったという。「入社したころは社長付きのセクレタリーでしたが、仕事の量に対してスタッフの数が全然足りなく、アドミニストレーションの仕事も、同時に担当せざるを得ない状況でした」。アドミニストレーションとは、日本でいう総務や管理にあたる業務。一見地味なようだが、企業の潤滑油的な役割を果たす重要な仕事である。

「会社が大きくなるにつれて、自分が担う役目も次第に変わってきました。今ではセクレタリーの業務を他の人に任せて、自分はアドミニストレーションの仕事に加え、オフィスマネージャーの仕事を担当しています」。現在、スタ

ップは70名に増加。会社の規模が急速に拡大するとともに、仕事の内容も変化してきたという。

「オフィスマネージャーとして私に一番求められる仕事は、人事や座席の配置、また、植栽を配したり、部屋を明るくしたりと、オフィス全体のことを考え、誰もが

気持ちよく働けるオフィス、をつくっていくことなのです」。このオフィスマネージャーの仕事が、現在、田村さんの仕事のメインになっている。

また、田村さん曰く「細やかな仕事」であるアドミニストレーターの業務としては、セクレタリー



「気持ちよく働けるオフィスにしたい。最近様々なインタビューで耳にする言葉だ。では、『気持ちよく働けるオフィス』とはどのようなオフィスなのだろうか？ また、どのような人の手でつくられていくものなのだろうか？ 数回のオフィスの拡張や関連会社の移転を通じて、さらに、セクレタリーのほかからの経験を通じて、とにかく、『誰もが気持ちよく働けるオフィスをつくりたい』と、常に真剣に考え、実現させている田村絵里さん。日々の忙しい業務の中、いつか理想を持って働く場所をイメージする。

の業務管理や調整、備品の購入、移転・拡張時の対応などがあり、モルガン・スタンレー本体との折衝も多く、多岐にわたる。

「最も大変なのは、9名いるセクレタリーの業務が円滑に進んでいくように、個々の仕事内容や役割分担への提案、また仕事に対するアドバイスを行うなど業務全体を考えながら組み立てることです。元々、私もセクレタリーとして入社し、夢や希望を持ち仕事をしてきました。そうした経験から、今の彼女たちの気持ちを一番分かっているつもりです。だから分からないことや困ったこと、また、要望があるときは、相談相手になり、彼女たちが働きやすくなるようサポートすることを心がけています。逆に、ただ言われたことだけをするのではなく、付く人の仕事に対し進言できる人になってほしいという思いから、私から彼女たちに、もっと積極的に仕事に関わるよう要求することもあります」。

少しでもメンバーがやりがいを持って働けるようにしたいという思いが、そこにうかがえる。

### 大きな仕事にも 関わることができる喜び

昨年末、同社は広尾にあるオフィスビル、「恵比寿プライムスクエア」を購入したが、「弊社の日本進出以来、最大の投資物件の購入に、オフィスマネージャーとして参加できたことに、今までで一番感動しました」とそのときを振り返る。田村さんが、オフィスマネージャーとしての仕事に関わりはじめてのはちょうどこのころ。「クロージングといって、購入金額を決めるにあたり、様々な視点から対象物件を分析するのですが、私はオフィスマネージャーとして、『使い勝手のいいビルかどうか』といったオフィス内の価値を調査する仕

事をしていました。無事購入できたとき、みんな歓声を上げて盛り上がったことが、とても印象に残っています」。

どんな分野でもいえることだが、『価値をはかる仕事』は、少しでも判断を誤ると大きなダメージを負いかねない責任の重いものだ。その分、うまくいったときの喜びもひとしおだろう。だが、田村さんの仕事は購入できたから終わりというものではない。現在、同社関連のサービサー（不良債権の回収にあたる会社）、(株)ロンバード債権回収の恵比寿プライムスクエアへの移転に関する窓口をしているという。

### 多忙を極める業務のなかで やりがいのある充実した日々

「日頃、やることが山積みになっているうえ、朝や昼にミーティングが入ることが多く、気がついたら夜になっているという毎日ですね。外の風景も、冬には富士山が見えて、とてもいいのですが、外を見て落ち着いていられるほどの暇がないですし、あと見慣れると、飽きてしまいますし(笑)」。

様々な仕事を一人でこなしていることもあり、デスクワークが中心という毎日では、なかなかリフレッシュできないようだ。

「今は、日々の業務に対して全力で取り組んでいます。忙しい毎日が続いていますが、大きな仕事もあって、やりがいもありますし、なによりオフィスマネージャーとして、少しでもオフィスの環境をよくしていきたい、働きやすいオフィスをつかっていきたい、という思いが一番強いです」。

いつも働きやすい環境にすることを考えている田村さん。こうして考えられたオフィスはきっと誰もが働きやすいオフィスになることだろう。



株式会社モルガン・スタンレー・  
プロパティ・ジャパン

アドミニストレーター  
兼オフィスマネージャー

田村 絵里 さん